

自学自習のすすめ

自ら学ぶ
自ら拓く



はじめに -----

君は、なぜ、勉強するんだろう？

テレビを見るのも楽しいし、ゲームをするのも楽しい。友達と駆け回るのもいい。

でも、いま楽しいと感じることだけ、いま自分がやりたいことだけ、をしていたら、

君は、とても大切なことを置き去りにしているのかもしれない。

君は、どうして、学ぶんだろう？

世界はとても広い。君の知らないことがたくさんある。

君の生まれるずっと前から

たくさんの人がつくり、受け継いできたものがいっぱいある。

それは、私たち人間が、人間らしく生きていくための知恵だ。

すぐ役に立つものもある。

大人になって仕事をするときに思い出すものもある。

おじいさんやおばあさんになって大切さがわかるものもある。

役に立たないように感じるかもしれないけど、君の心に残り、君を慰めてくれるものもある。

そんないろんなことを知れば、

君は、きっと、今までとは違う自分に出会うはず。

知る、ということは、自分が変わること。自分が大きくなること。

他人の喜びや、悲しみや苦しみが、もっとよくわかること。

それに、本当の楽しさってのは、

苦しいこと、面倒なことをやってみて初めてわかることが多いものさ。

だまされたと思って、やってみよう。

苦しいことじゃなくなってくるかもしれないよ。

そして、そのとき、君は、一番大切なことに気づくだろう。

自分で学ぶということの楽しさに。そのかけがえのなさに。

この冊子の説明と使い方

家での学習で大切なのは、毎日、少しでもいいので、読んだり、書いたりしてみることです。それが、どうして大切なのでしょう？

大きな理由が2つあります。

1つは、基本的な力(たとえば、漢字の読み書きや足し算・引き算)は、繰り返し学習しないと「身につかない」。そして、「身につけて」しまわないと、先に進めないからです。

基本的な力は、「毎日繰り返す」ことで、いつのまにか「身につけて」くるのです。スポーツだって、そうですね。型や作法というのはとても大切です。とにかく、まねてみる、やってみるということです。

でも、いつまでも基本だけをやってもおもしろくありませんし、上達もしません。学校では、基本以外のこと、例えばじっくり考えたり、調べたり、意見を聞いたり、話し合ったり、発表したりする活動をしています。また、基本練習問題以外の宿題も出たりします。

ただ、基本は大切ですので、家での繰り返し学習も続けてくださいね。

もう1つは、毎日、少しでも勉強することで、それが「普通のこと」になること、家での学習が、「習慣」になるということです。

自分で勉強するという習慣は、「計画を立てたり」、「見通しを持って行動したり」、などのとても大切な力をつけることにつながります。この力は、自分の時間や行動を自分で決めていく力であり、社会でたくましく生きていくための基礎となる力です。

この冊子には、家での学習習慣を身につけるためのヒントとなることが書いてあります。どこから、どのように読んでもかまいません。

もちろん、ここに書いてあることだけが、自学自習や勉強のやり方のすべてではありません。あくまでも、ヒントです。家族の人とも相談しながら、皆さん自身のやり方をつくってってください。

「継続は力なり」

目次

P03 小学校1・2年生

P05 小学校3・4年生 → プレジョイントプログラム(4年生)

P07 小学校5・6年生 → ジョイントプログラム

P09 中学校1・2年生 → 学習確認プログラム

P11 中学校3年生 →

P13 つかめ！たしかめ！ノートづくりのコツ

P14 全国学力・学習状況調査の問題を解いてみてください

● 京都市小中一貫学習支援プログラムについて

(プレジョイントプログラム・ジョイントプログラム・学習確認プログラムの総称)

子どもたちが学習内容を自分で計画的に総復習し、その達成状況を定期的に確認することを通して、一人一人の課題を解消し、確かな学力の向上につなげることを支援する、京都市独自のプログラムです。(詳細は各学年のページをご参照ください。)

- この冊子は、小学1～4年生のページは主に保護者の皆様に読んでいただくことを、小学5年生からのページは主に児童・生徒の皆さんに直接読んでいただくことを想定しています。
- この冊子は、国語や算数・数学などの学習を中心に掲載していますが、音楽や絵、工作などを通して幅広い知識や技能、感性を身につけること、スポーツを通してたくましい体や心をつくることも大切です。

学習内容の特色（学校で）

- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする」といった、基本的な学習習慣を確立しましょう。
- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 45分間の教科ごとの授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- GIGA端末を使いはじめます。絵や文字をかいたり、簡単な入力を行ったりします。

自学自習のつぼ! 3か条

その ① 最後までやり終える！

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。最後まで出来たかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。根負けせずに、ねばり強く働きかけることが大切です。

その ② 子どもにも家族の役割分担を！

家庭で、子どもにもできる仕事を見つけてください。家族の一員としての役割を体験させることで、自分にできることを考え、行動する姿勢が育ちます。学年が上がるにつれてこうした家事の分担の範囲を広げていきましょう。

その ③ 家族ぐるみでよりよい学習習慣を！

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。子どもが学習している時は、テレビ等を切って、静かで集中できる学びの環境を整えてあげたり、家庭で「読書タイム」をつくることも効果的です。

また、会話を単語ではすまさないことなどを、日常生活の中で意識し、実践することがとても大切です。



ワンポイントアドバイス【小学校1・2年生の学び方】

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- 今日の宿題を一緒に確かめましょう。
- 正しい姿勢で座らせましょう。



宿題

宿題をやり終えるようになれば、まず大丈夫！
家族のほめ言葉が学習意欲を生み出します。

日記

楽しかったことやうれしかったことなどを、素直に
自分の言葉で書くようアドバイスしましょう。

〈音読〉

- 楽しんで、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

国語

〈漢字〉

- 書き順に気をつけて、丁寧にゆっくり書きましょう。

〈読書〉

- 子どもにあった本をまわりにおきましょう。読み聞かせをするのもいいですね。

〈計算〉

- 速さを競わずに、楽しみながら計算に慣れていきましょう。正しくできるようになれば、少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- 間違った問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習しましょう。

算数

- 休みの日には、山や川、動物園や植物園などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。
- 「あつまれ！京（みやこ）わくわくのトビラ」などの情報誌を参考に、京都市青少年科学センターや図書館などに出かけましょう。

生活科

学習内容の特色（学校で）

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。（3・4年生とも200字ずつ）
- 算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学びます。
- GIGA端末で文字入力や写真の編集等を行います。

自学自習のつぼ! 3か条

その ① 宿題以外の学習にも挑戦!

宿題だけでなく予習・復習の自主的な学習にも積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくと良いでしょう。

そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも関心が持てるように働きかけましょう。例えば、京都市青少年科学センターや博物館などを活用してもいいですね。

その ② テレビやゲームは、時間を決めて!

テレビやゲームに夢中になって、遊ぶ時間がだんだんと長くなることがあります。

はじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることになります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

その ③ ほかの子どもと比べず、「がんばり」をほめる!

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹と成長を比べることは避けて、「がんばり」を見のがさずに、積極的にほめましょう。

プレジョイントプログラム（4年生の1月）

- 4年生では、確認テストをもとに、学習の定着状況をチェックしながら、学習内容をより定着させます。
- 確認テストは、出題予定表に沿って実施されます。確認テストに向けて、学習計画を立てましょう。
- 5年生からは、テスト前に配られるおさらいプリントでテストに向けて学習を進め、テスト返却後はふり返りプリントでしっかり復習するスタイルに変わります。こうしたスタイルは、中学3年生まで継続して行われ、自学自習の習慣化を促します。（p08参照）

ワンポイントアドバイス【小学校3・4年生の学び方】

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- 学校からのプリント類を親に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題を自分で確かめさせましょう。

宿題

学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

日記

様子がよく分かるように、会話を入れて詳しく書くようアドバイスしましょう。読み直す習慣もつけさせましょう。

〈音 読〉

- 毎日1回は声に出して読みましょう。会話文は、登場人物の気持ちを考えて読んでみるなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。

〈漢 字〉

国 語

- 学校の漢字ドリルなどを活用して、繰り返し丁寧に練習しましょう。
- 正しい筆順で「はね、はらい、とめ」に気をつけて書きましょう。
- 国語辞典や漢字事典の使い方に慣れるよう手もとにおき、常に使用しましょう。

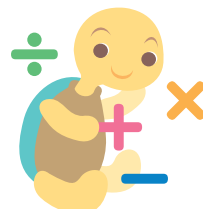
〈読 書〉

- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。家庭で「読書タイム」をつくり、家族全員で本に親しみましょう。

〈計 算〉

算 数

- 計算手順が正しく身につくよう、毎日少しずつでも計算をしましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 手順が多い計算も、集中して一つずつ順番に計算していきましょう。



学習内容の特色（学校で）

- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- 学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
- GIGA端末である程度の早さで文字入力したり、自分でファイルを使って共同作業をしたり、オンラインによるコミュニケーション活動に参加したりするようになります。

自学自習のつぼ! 3か条

その ① 予定を立て、計画的な学習を！

その日の予定を立て、見通しをもって学習しましょう。必ず学習する時間帯の設定をしましょう。

その ② 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！

「早寝早起き、夜更かしをしない」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣を見直しましょう。

その ③ 「急がば回れ」の気持ちで！

問題に取り組んでいて分からない時は、分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは必ず見直すことが大切です。先生に相談することもよいでしょう。

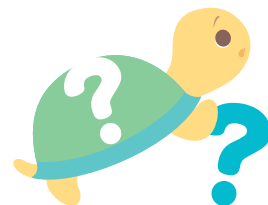
ジョイントプログラム（5・6年生の8～9月、1月、最終回は中学1年生の4月）を活用して、予習と復習の学習スタイルに慣れていきましょう。これは中学校の学習スタイルにつながります。

- 習った内容を「ジョイントプログラム」で復習しましょう。
- 夏休みや冬休みの計画的な学習を心がけましょう。
- 苦手な学習内容を繰り返し勉強しましょう。
- 得意なところをさらに伸ばすための練習問題にチャレンジしましょう。
- 6年生は中学校入学後に確認テストが実施されますので、春休みにおさらいプリントで小学校の総復習をしましょう。

ワンポイントアドバイス【小学校5・6年生の学び方】

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓^{せいりせいとん}をしましょう。
- 学校からのプリント類を親に手渡す習慣^{わたくし}をつけましょう。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めましょう。
- 調べ学習等には、GIGA端末も活用しましょう。



宿題

学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

日記

書くことに慣れるとともに、自分の気持ちや考えを整理しましょう。慣れてきたら、テーマ作文や100文字作文にも挑戦してみよう。

〈音読〉

- 間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読^{ろうどく}したりしましょう。
- 他の教科の教科書も音読しましょう。重要な用語や内容の理解が深まります。

〈漢字〉

- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- 習った漢字を使って、熟語^{じゆくご}や短文を作りましょう。

〈読書〉

- 家族や友人と読んだ本の感想を語り合い、いろいろな感じ方、考え方にふれましょう。

算数

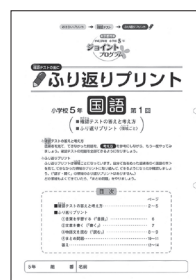
〈計算〉

- よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。
- 答えの確かめを、自分でできるようになりましょう。

国語

ジョイントプログラムの学習の流れ

- 1 出題予定表を見て出題範囲^{はんに}をチェックする。
- 2 おさらいプリントを使って、確認テストに向けて学習を進める。
- 3 確認テスト後返却された成績表^{せいせき}を見て、自分の苦手なところや得意なところを把握する。
- 4 ふり返りプリントで、自分の苦手なところの復習や得意なところを伸ばすための挑戦をする。



学習内容の特色（学校で）

授業の内容が大きく変わります。

- 教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べて、中学校の内容は、質・量ともに、ずいぶん違ったものになります。

自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます。

- 教科ごとに先生が変わるので、毎日一定の宿題が出るとは限りません。自分自身で計画を立て、勉強方法や内容を工夫し、何をするか自分で考え、実行できるようになることが大切です。

自学自習のつぼ! 3か条



その ① 自分の状況を把握し、計画的に学習しよう!

1日の授業や生活を振り返り、がんばってできたこと、がんばれなかったこと、よく分からなかったことを考えてみましょう。

また、定期テストや学習確認プログラムの結果を自分で分析するのも、いい方法です。そして、今やるべき学習（宿題やテスト勉強等）や、興味や関心のあることについて学習（探究的な学び）に取り組む時間を設定しましょう。

自分で設定した学習を、いつどのように取り組むのが肝です。自分に必要な学習に気づき、自分で計画的に行う学習は、誰かに指示されてする学習より、何倍も効果があります。

その ② 予習で工夫を! 復習に重点を!

教科書は授業の前の日に読んでおきましょう。どのような学習をするのかを知っておくと、授業に臨む姿勢も自ずと変わるはずです。また、あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、課題を見つける力もつきます。

その日のうちに、教科書やノート、プリントを使って学習のポイントを整理しましょう。GIGA端末を活用すると効果的に学習を進めたり、学習の足跡を残したりすることができます。

その ③ ノートの有効利用を!

自分で工夫したノートづくりをしましょう。例えば、復習や見直しのために、学校での学習は左ページに、自分でまとめたり付け加えたものは右ページに書くなど“世界でたったひとつ”だけのノートをつくりましょう。(p13参照)

ワンポイントアドバイス【中学校1・2年生の学び方】

国語

- はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返して読むことが大切です。
- 漢字は何回も書いて確実に覚え、ノートや作文、日記などを書く時に使いましょう。
- 意味の分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておきましょう。
- 小説や物語、新聞、新書を読んで、自分の生き方を考えてみましょう。また、推薦図書はぜひ読みましょう。

社会

- 新聞やテレビで話題になっていることを、自分でも考えてみましょう。
- 教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしましょう。
- その日の授業で学習したことを、ノートに工夫してまとめてみましょう。

数学

- その日の授業で取り組んだ内容を、理解できるようふり返りましょう。
- 計算の仕方などは、繰り返して身につけましょう。
- 教科書に載っている文章題はその意味を読み解き、納得して解いてみましょう。

理科

- 図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。
- その日の授業で学習したことを、ノートに工夫してまとめてみましょう。
- 日頃の生活の中で抱いた科学的な疑問について、関心をもち、積極的に調べてみましょう。

英語

- 新出語(句)と基本文は、声に出しながら繰り返し書き写しましょう。
- 教科書で習った本文は、まず、声に出して読んでみましょう。読めたら、その意味を日本語で書いてみましょう。
- 英文を何度も聞いて、聞きとる力をつけましょう。

「学習確認プログラム」を利用して自学自習の習慣をつけましょう。

- 出題計画表に沿って復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。
- 指摘された学習のポイントは繰り返し勉強しましょう。
- 中学1年生は「ジョイントプログラム」で小学校での学習もふり返りましょう。
- 中学2年生は、3回目が今までの学習の総まとめになっています。中学3年生に向けて、春休みにフォローアップシートを使ってしっかり復習しましょう。

学習内容の特色（学校で）

- 進路希望先を意識した学習だけでなく、まずは、基礎的・基本的な内容を確実に身につける総復習が必要です。
- 3年生の学習内容は、1・2年生の学習内容とかけ離れて難しいわけではありませんが、3年生の授業の復習と1・2年生の内容の復習の両方を進めていくことが大切です。
- GIGA端末は、これまでの学習の足跡がログ(履歴)として残っています。自分の得意・不得意を把握して復習をするときに活用しましょう。



卒業後をイメージして、スケジュール管理をしましょう。

- 進路希望の実現に向け、2月・3月から逆算して、復習に重点をおく期間、進路対策に重点をおく期間を大まかに設定しましょう。
- 定期テストや学習確認プログラムなど、いつ、何があるのかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
- テスト勉強や進路対策の勉強を、いつどのようにするのか計画を立て、自分でスケジュールを管理しましょう。
- 学校や塾の先生に指示されて進路対策を進めるのではなく、自分で主体的に学習することが、進路や卒業後の姿を変えていきます。

「学習確認プログラム」でステップアップをめざしましょう。

- 学習計画に沿って復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。
- 指摘された学習のポイントは繰り返し勉強しましょう。
- 3年間の「フォローアップシート」を活用して、中学校の総復習にチャレンジしてみましょう。

夏休みは！

- 1・2年生までの総復習を、集中して行う絶好の機会です。
- 自分で学習計画を立てて復習等に取り組みましょう。与えられた課題だけでなく、自分にとって必要な学習を進めましょう。
- 部活動を引退したら、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。読書を通して心を育てましょう。また、読後の感想も書いておきましょう。

冬休みは！

- 進路希望が明確になります。進路を見すえて、ラストスパートです。出題傾向を調べ、それに合った対策問題などに挑戦しましょう。

ワンポイントアドバイス【中学校3年生の学び方】

- まず、ノートを見て、その日の授業をふり返りましょう。
- 得意な教科の学習は、問題集やデジタルドリルなどでどんどん進めましょう。
- 苦手な教科は、分かるところまでさかのぼってやってみましょう。
- 先生から、自分にあった学習方法のアドバイスをしてもらいましょう。

国語

- はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返して読むことが大切です。
- 漢字は何回も書いて確実に覚え、ノートや作文、日記などを書く時に使いましょう。
- 意味の分からない語句は、国語辞典で調べて意味や使い方を確かめておきましょう。
- 小説や物語、新聞、新書を読んで新しい知識、いろいろな感じ方、ものの見方、考え方を深く知り、生き方について考えましょう。推薦図書はぜひ読んでみましょう。

社会

- 新聞やテレビで話題になっていることを、自分でも考えて文章やメモにまとめてみましょう。
- 教科書を繰り返し読んだり、資料の意味を考え、内容の理解に努めるようにしましょう。
- その日の授業で学習したことを、ノートに工夫してまとめてみましょう。
- 社会科で学習したことが、自分たちの生活にどのように関わっているか常に考えてみましょう。

数学

- その日の授業で取り組んだ内容を、問題集などを使って確実に理解しておきましょう。
- 教科書に載っている文章題や発展的な問題もあきらめずに、時間をかけて解いてみましょう。

理科

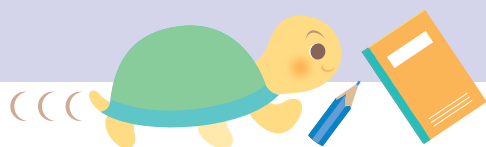
- 自然に関わるものごとについて、成り立ちや特徴で分類したり、数値で比べたりするなど科学的な方法で考えてみましょう。
- 授業で学習したことが、私たちの生活とどのように関わっているか調べてみましょう。
- 図やグラフなどの資料から、どのようなことが読み取れるか言葉にし、説明してみましょう。

英語

- 新出語(句)と基本文は、声に出しながら繰り返し書いて覚えましょう。
- 教科書で習った本文は、繰り返し声に出して読んでみましょう。読めたら、その意味を日本語で書いて、今度はその日本文を見ながら英文に書けるまで練習しましょう。

～つかめ！たしかめ！

ノートづくりのコツ～



ノートは学校の板書を写すだけのものではありません。それぞれの教科の先生の指示もあるでしょうが、その上で自分なりの工夫をしましょう。「世界でたった1つだけのノート」のために…

Aさんの工夫

ノートの左ページに学校での学習の板書を写し、右ページに自分でまとめたり調べたことを書き込んで整理しています。自分で学習した事柄を整理することが、深い理解につながります。

Bさんの工夫

ノートを2冊用意して、1冊は学校での学習に、もう1冊は「自分勉強」用のノートにしてまとめたり調べたことを書き込みます。授業のあった日にこの作業をすると、それは立派な復習になります。極端なことを言えば、学校で書き込んだノートをもう1冊のノートに、確認しながらていねいに写すことから始めてもいいのです。

Cさんの工夫

得意のイラストを駆使して、キャラクターに吹き出しを作って重要事項を整理したり関連したことを絵で表したりして、見ていなくても楽しいノートづくりをします。シールなどを上手に使う工夫もいいでしょう。

Dさんの工夫

学校での学習の板書を写すだけでなく、そこにどんどんとメモを書き込んでいます。最初は大変ですが、慣れれば気にならずに出来ます。自分だけの記号を決めておいてメモを取る時間の短縮もはかっています。

Eさんの工夫

学習した事柄がある程度まとめると、自分でノートに「まとめテスト」を作ります。それを定期テスト前に解いています。「自分が先生になったつもりで問題を作る」、つまり、しっかり定着させたいと思う気持ちで作ると、自ずと大切なところが浮かびあがってきます。

注意したいこと

- 色ペンを使うルールを、あらかじめ決めておきましょう。（例えば、重要語句は赤、基本の公式は黄色で囲むなど。色数が多いのは必ずしもいいことではありません。）
- 文字はていねいに書くようにしましょう。上手でなくてもていねいに…ノートを書くということとはそのこと自体、文字の練習なのです。
- 余白を十分にとりましょう。文字や図が詰まっていたら、それだけで見にくくなります。余白があれば後で書き込むこともできます。「後で書き込む」…それこそが自学自習のひとつのかたちです。
- 学習プリントをノートに貼る時は、のりを付け過ぎないのが、きれいに貼るコツです。プリントの四隅にのりを少しだけ付けて貼り、後で開きやすく、見やすいノートになるようにしましょう。

全国学力・学習状況調査の問題を 解いてみてください ～つきたい力～

※令和5年度全国学力・学習状況調査の調査問題(中学3年数学)より

学習では、語句を覚えたり、計算したりするだけでなく、それらを活用することが大切です。ここでは、活用した力をみる全国学力・学習状況調査の問題を載せていますので、是非、チャレンジしてみてください。

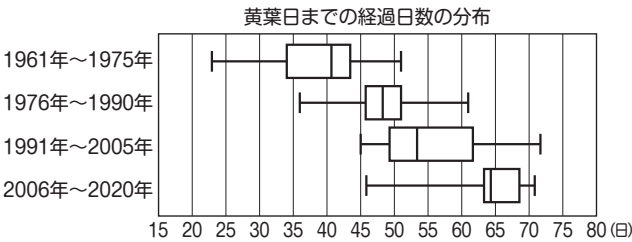
イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{おうようび}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。

そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は右のような表にまとめました。

各年の黄葉日		
年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。右の黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。



	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。
(2) 二人は、右の箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花：「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
啓太：「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
一花：「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

上の箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

解答・解説

設問(1) 〈正答〉 10

設問(2) 〈正答(説明)〉(例)

1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にある。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

育ちや学びの特徴

小学校1・2年生

- いろいろなことに興味・関心をもち、何でも知りたがります。さまざまな体験を通じて感受性が豊かになります。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「自分のことは自分です」などの基本的な生活習慣を身につけることが、学習習慣の確立につながります。
- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、子どもたちの意欲を生み出します。

小学校3・4年生

- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- 自立心が芽生え、目標に向かって計画を立て、自分で挑戦するようになります。
- まわりの人のことを考え、協調して行動します。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせ、自ら机に向かう姿勢を育てます。

小学校5・6年生

- 自分の役割に対して、責任を持って取り組みます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な学年です。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- 予定を立て、見通しを持って自力で学習を進めます。
- 自分の将来の夢を思い描くようになります。

中学校1・2年生

- 様々な経験を積み重ね、幅広い知識や視野を獲得していきます。
- 仲間や友だちの影響を強く受けます。その中で、集団の一員として大きく成長していきます。
- 人の役に立ち、地域社会などに貢献することで、自尊感情(自己有用感)が育ちます。
- 主体的に、計画的・継続的な学習を進めます。
- 自分の将来について、より関心が高まります。

中学校3年生

まさに、人生の節目の時期です。

- 自らの進学や就職などの進路選択をする時がだんだん近づいてきます。
- 進路に関する情報が不足していると、一層不安が募ります。本人も保護者も、学校(先生)などから正しい進路情報を得ましょう。
- 正しい進路情報をもとにして、家族で進路についてよく話し合いましょう。
- 将来を見すえた目標を明確にもつことが、本人のやる気にもつながります。

